

論題：神経経済学・はじめの一步

講演：田中沙織（大阪大学）

近年、「神経経済学」という新しい分野が注目されている。従来の経済学は、経済行動を生み出す脳の働きは、ブラックボックスとして扱い、人間は合理的な行動をするという単純なモデルに基づいて、経済現象を説明し経済政策を提案してきた。しかし、現実の経済には合理的な人間モデルでは説明しがたい現象が多く見られ、実際の人間の経済行動をとらえようという行動経済学が近年活発化してきている。一方脳研究の分野では以前から、報酬に基づく行動選択の脳内メカニズムを解明しようという研究が行われていた。このような背景から、経済行動を生み出す脳のプロセスを脳科学の手法を用いて解明し、実際の人間の経済行動をより良く説明できるような新しい経済人モデルを作ることを目指す神経経済学という新しい分野が誕生したのである。このセッションでは、この新しい分野である神経経済学を、神経科学の基礎知識を含めて神経科学の立場からレクチャーしていきたい。